

3月8日・11日の2日間、陳情1件の審査、所管の事務調査と現地視察を行いました。

# 経済建設常任委員会

## 新規に

### 何を始める

#### 農林水産課

## 環

境に配慮した栽培方法の導入や、少量多品目周年出荷などの支援として、可能性があり、予算を全額大山エコ農業推進モデル事業（事業費1000万円）を新規に始める。  
しかし、新規事業のため取りまとめに時間がかかる可能性があるため、予算を全額執行できるか不安もある。  
大山ブランド開発支援事業では、大山ブロックリーを町のPRとあわせて取り組む。

付金事業は、部分的な排水条件の改良や用排水施設の変更等に8割補助をする。  
山香荘は平成22年度から、指定管理を直営に戻す。

## 不要な負担

### が発生

#### 水道課

## 平

成29年度料金統一に向けて、領地区との基本的合意を得た。加し1200万円になった。防止策の検討を指示した。

委員会懸念している。下水道事業では異物混入が多発し、平

## スキー客

### の減少

#### 観光商工課

## 商

工振興費では融資保証料補助金（単町費1000万円）を昨年に続き50%の補助率で行う。

索道会計は中の原スキー場リフトとスキーセンターの管理運営を行う。近年雪不足のため、営業日数の減少、スキー人口の減少などで利益が上がらなかつた。不確定要素はいろいろあるが、収益の安定を求めた。

## 若者定住に

#### 建設課

## 大

山口駅前若者ナスパルタウンは残り40区画のうち、5区画を販売予定にしているが、起債償還には10区画の販売が必要となる。

購入から3年のうちに販売促進にさらなれば、固定資産税5年分相当（100万円）が支給される。

## 現地調査

上げる方式で平成21年

農産物処理加工施設は外観が完成し、内装と外構工事となっている。6月に本格稼働をする。若者向け住宅は基礎工事が終わり、上屋部分は完成品を積み

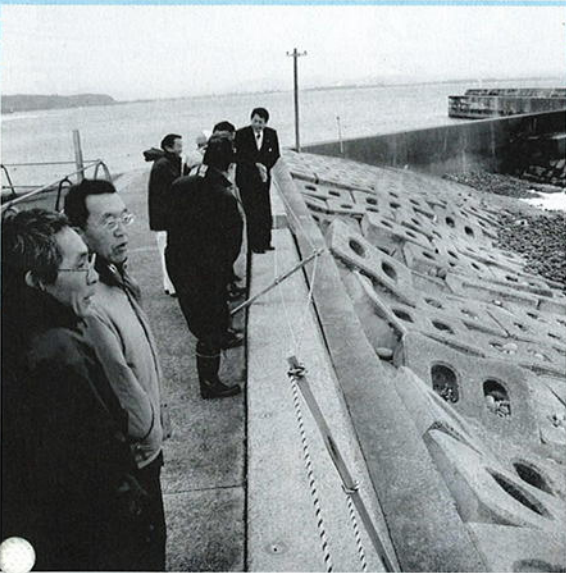
## 公社は

### これから

## 公

社は大部分が補助金で運営される。それに見合った管理体制と利益確保、生産者への利益還元と意欲向上が必要となる。

収支決算の総括と評価をし、次年度の方針の見直し、策定を行う必要がある。また、収



ブロックが陥没した平田漁港を視察



私たちが審査しました！  
経済建設常任委員会